

自主防瓦版

令和5年度延岡市水防訓練

延岡市消防本部（永谷正男消防長）は、令和五年五月二十一日（日）大瀬川左岸河川敷で水防訓練を行いました。

5年ぶりの開催で、国土交通省延岡河川国道事務所、陸上自衛隊第43普通科連隊など17機関から346名が参加しました。

訓練は、大型で非常に強い台風が通過し、大瀬川の水位が上昇、洪水の可能性があるという想定で開始。故障車両の運び出し、延岡地区建設業協会が運び込んだ土砂を使って水防工法訓練、車両から要救助者を救出する救助訓練、排水ポンプ車の運用訓練などを実施しました。

また、自主防災組織からは、古川町及び三須区が参加し、延岡市災害対策本部から避難指示が発令されたとの想定で避難を開始、災害ボランティアが設置したテントまで避難しました。その後、宮崎県防災士ネットワーク延岡支部の協力を得て、竹竿と毛布を使った簡易担架の作成及び段ボールベッドの作成を体験しました。



【水防訓練開会式】



【避難誘導訓練】



【担架作成】



【段ボールベッド】

2023年
6月15日
(第128号)

延岡市
自主防災組織
連絡協議会
事務局
☎22-7105

結成しました

自主防災組織率
組織数
279組織
組織率

85.92%
令和5年3月31日
現在

防災訓練は災害
時に役立ちます

Topics

延岡市ホームページに「自主防災組織を考える」を掲載しています。「延岡市 自主防瓦版」で検索してみてください。

小野町区防災訓練

小野町自主防災組織（伊東幹男会長）は、令和五年五月七日（日）小野営農集会所にて防災訓練を行いました。

8時に地震が発生したとの想定で、避難を開始。地区住民は小野営農集会所へ避難してきました。各組ごと名簿にて避難者の受付を行い避難者把握に努めていました。避難訓練終了後、伊東区長のあいさつに引き続き、防災推進員から地震のしくみや対策について講話を受けました。家具を固定するL字金具やガラス飛散防止フィルムを実際に見ることににより家具の転倒防止対策の必要性を感じる事ができました。

次に心肺蘇生法及びAED取扱いについて説明を受けたのち、数名がダミー人形を使って実技を行いました。最後に防災資機材の紹介や取扱いについて説明を行い、昨年度配備された簡易テントを広げてその大きさを実感することができました。



【テント組み立て】



【AED取扱い】

本小路1区防災訓練

本小路1区自主防災組織（日高多津子区長）

は、令和五年五月十四日（日）社会教育センターにて防災訓練を行いました。訓練に先立ち事前にアンケートを実施しており、日高区長から「避難は何処にするか？」「避難時に不安なことはあるか？」などの集計結果について報告がありました。その後、防災推進員から防災バックの自身の紹介、心肺蘇生法・AED取扱い法、応急手当、ポリ袋炊飯及び令和4年台風14号時の状況を含めた風水害の講話を受けました。最後に、防災資機材の取扱いを行い、訓練を終了しました。



【報告する日高区長】

大貫町中区防災訓練

大貫町中区自主防災組織（岡田秀一区長）は、令和五年六月四日（日）大貫中区公民館にて防災訓練を行いました。

はじめに、避難者の受付を行い、次に、参加者総員が煙体験ハウスにて煙中を体験、歩行に難しさを感じる事ができました。その後、水消火器による消火訓練及び防災推進員による講話を受けました。



【前が見えないよ！】



【水消火器、発射！】

笹目区津波避難訓練

笹目区自主防災組織（石川俊一会長）は、令和五年五月十四日（日）に津波避難訓練を行いました。午前九時に「津波警報が発令された」との想定で、防災行政無線及び恒富第2分団恒富第32部（織田竜二部長）による広報を確認した住民の皆さんは、運動広場に集合しました。石川会長から「日頃から災害に対する備えをしましょう」と挨拶があり、防災グッズの紹介・水消火器による初期消火訓練・油火災消火体験などの後、参加者全員によるバケツリレーを行い放水ポンプへ水を供給しました。延岡市消防団女性消防隊（愛称・とよ姫隊）の模範訓練を見学した後、放水要領も体験しました。訓練終了後に、給食班がハイゼックス袋で炊飯したおにぎりを持ち帰り試食しました。



【チームワークよし】



【とよ姫隊指導で放水】



【今年も薪で炊飯】

防災訓練等予定

- 7月1日（土）
 - 西階地区靑少協防災訓練
午前10時～西階中学校
- 7月3日（月）
 - 粟野名地区防災講話
午後7時～粟野名公民館
- 7月8日（土）
 - 伊形大福良区夜間避難訓練
午後8時～伊形小学校
 - 桜園1区・4区、松馬場団地、中川原1・3区合同防災訓練
時間調整中 旭小学校
- 7月9日（日）
 - 災害ボランティアスキルアップ
午前9時～社会福祉協議会
 - 北小路1区防災訓練
午前9時～
岡富小学校PTA会館
 - 富美山2区防災訓練
午前10時～富美山2区公民館
- 7月11日（火）
 - 延岡工業高校、緑ヶ丘地区及び陸上自衛隊合同津波避難訓練
午後1時～延岡工業高校
- 7月15日（土）
 - 昭和町1区防災講話
午後7時～宮崎ガス
- 7月21日（金）
 - 上平原区防災講話
午後7時～上平原公民館
- 7月23日（日）
 - 大門区防災講話
午前9時30分～東海コミセン
- 7月30日（日）
 - 平原椿ヶ丘区防災講話
午前10時～椿ヶ丘公民館
 - 南古城区防災訓練
午前10時～恒富中学校

すみれ区防災講話

すみれ区自主防災組織（工藤会長）は、令和五年五月二十五日（木）すみれ団地集會場にて防災講話を行いました。防災推進員から令和4年台風14号における被害状況や避難した方へのアンケート結果から情報入手の方法や避難の判断・避難先などの説明をうけた皆さんは、普段からの備えやコミュニケーションが重要だと認識しました。



【みなさん熱心に聞いてます】

桜小路西区防災訓練

桜小路西区（小牧防災担当）は、令和五年五月二十六日（金）社会教育センターで防災訓練を行いました。「歩いてみよう・行ってみよう」をテーマにして行いました。防災推進員から避難は、誰かの指示で行うものではなく、自分で判断する事が大切であると説明を受け、避難のタイミングや分散避難などについて普段からイメージする事が必要と感じました。



【スムーズに來れたわよ】

大門区防災訓練

大門区自主防災組織（田中純一朗会長）は、令和五年五月二十日（土）に津波避難訓練を行いました。「午前9時に地震が発生後、津波警報が発令された」との想定で、10組・11組・14組の皆さんを対象に指定した1次避難場所までの移動を行いました。東海第2分団第7部（戸高佑輔部長）や役員の誘導により避難場所へ安全に到着しました。その後、東海コミセンで、段ボールトイレを使い、断水時の自宅トイレ使用方法及び新聞紙スリッパを参加者全員で作成しました。田中会長から、「避難する気持ちを持つことが大切です。玄関先に出てる事だけでも命を守る意識が高まります」と、挨拶があり津波避難を無事に終了しました。



【ここは標高7m地点です】



【普段の心構えが大切です】



【新聞紙スリッパ作りしました】

出前講座

- 自主防災組織の育成と拡大のための出前講座
- 内容：自主防災組織の必要性と役割分担及び地域に合わせた防災教育や訓練等の指導（講話・ビデオ・各種訓練・防災グッズ作成等）
 - 会場：各地域（公民館など）防災研修センター
 - 申し込み先：消防本部 警防課 警防係
TEL22-7105
FAX31-0303
- 宮崎県防災士出前講座
- 内容：宮崎県内のご希望の会場に防災士を派遣し、体験学習や講演を中心に防災・減災についての講座を実施
 - 申し込み先：宮崎県防災士ネットワーク
TEL0985-55-0477
FAX0985-55-0467